

学修成果の評価及び卒業認定の基準<医療科学部臨床工学科>

1 学修成果の評価

成績評価は、期末試験や中間試験等のほか、レポート、学修課題（期末課題、中間課題等）、授業への参加態度・実習への取組姿勢、実技課題、プレゼンテーション等の方法によるものとし、原則としてこれらいずれか複数の項目により行う。シラバスには、この評価方法及び評価割合を記載している。期末試験や中間試験等以外の方法による成績評価については、原則としてループリックにより行う。

成績は、A、B、C、D、Eの5段階で表し、A～Dを合格とし単位を与える。

なお、履修登録単位は、一学期当たり24単位（年間48単位）を上限として設定している。

2 客観的な指標の設定・算出方法

本学ではGPA制度を導入している。

GPAは、成績評価（A～E）に基づき付された次のGP（グレードポイント）に当該科目の単位数を乗じた値を合計し、それを履修登録単位数の合計で除することにより算出する。

<A=4、B=3、C=2、D=1、E=0>

GPAは学期ごとに算出する。また、每期、学年全体のGPAの総括的な成績分布資料を作成し、ホームページにおいて公表する。

《GP及びGPAについて》

成績区分	評点	Grade Point
A	100～90点	4.0
B	89～80点	3.0
C	79～70点	2.0
D	69～60点	1.0
E	60点未満	0.0

$$\text{＜計算式＞ } GPA = \frac{\text{「(科目の単位数) × (当該科目のGP)」の総和}}{\text{登録科目の総単位数}} \quad (\text{注})$$

注：履修登録抹消した科目は除く。成績評価で不合格となった科目は含む。

3 卒業認定の基準

卒業の認定に必要な要件は、次のとおりである（本学学則第22条）。

- 一 修業年限以上在学すること
- 二 所定の授業科目を履修し、128単位以上を修得すること
- 三 所定の学生納付金を完納すること

以上3つの要件のうち、「二」の要件の具体的な内容は次のとおりである。

- ①必修科目115単位を含む128単位を修得すること
- ②選択科目は13単位以上の取得が必要であり、内訳は、基礎科目から6単位以上（うち人間と社会の理解から4単位以上）、発展科目から6単位以上、そのほか選択科目全体から1単位以上であること（次表参照）

卒業に必要な単位数等

	必修科目 単位数	区分別選択 必要単位数	その他必要 選択単位数	小計
基礎科目	17 (13)	6	1	23
思考と表現	8 (6)	6		
人間と社会の理解	3 (2)	6 (6単位のうち人間と社会 の理解から4単位以上)		
自然科学の基礎	6 (5)			
専門基礎科目	42 (25)	0		42
医学系基礎	19 (12)			
理工学系基礎	23 (13)			
専門科目	47 (31)	0		47
医用生体工学	7 (4)			
医用機器学	8 (5)			
生体機能代行技術学	13 (10)			
医用安全管理学	5 (4)			
関連臨床医学	6 (3)			
地域・連携	4 (4)			
臨床実習	4 (1)			
発展科目	9 (6)	6	15	
医工連携・専門発展	2 (2)	6		
情報・データサイエンス	1 (1)			
総合	6 (3)			
合計	115 (75)	12	1	128

注：必修科目単位数の欄の（ ）内の数値は、必修科目の科目数である。